

# 目標 15

## 陸の豊かさも守ろう

LIFE ON LAND

### ●この目標(Goal)の解説

私たち、人間社会が頼っている自然の恵みとその恵みを生み出す自然の仕組み(生態系)に関する目標で、持続可能な社会の基盤を整える目標です。具体的に、「陸地の様々な生態系・絶滅危惧種の保全」「生物の移動」などをターゲットにしています。私たちの社会の仕組みや意思決定の中で、自然の価値を正しく捉え、正しく見積もり、ふさわしい規模で自然への投資をすることを目指しています。

生態系とは、ある地域に生息するすべての生物群集と、それを取り巻く環境とを包括した全体のことです。



一見、難しそうな目標ですが、暮らしの視点からアプローチができます！  
できることから少しずつ取り組んでいきましょう！

- 色々な季節に出かけ、生き物がどのような環境で生活しているかを知りましょう。
- 季節のもの・近くでとれたものを食べましょう。受粉を助ける昆虫などが絶滅するのを防ぐことができます。
- 生き物にやさしい商品を選びましょう。環境ラベルを意識して選んでみましょう。
- 保全活動グループを支援しましょう。

大学生協や様々な企業で環境保全活動が行われています。まずは知って少しずつ活動に加わっていきましょう！

### ●大学生協での実践事例



#### JUON NETWORK 森林の楽校（もりのがっこう）

大学生協では、認定NPO法人「JUON NETWORK」を設立し、体験型プログラム『森林の楽校』『田畑の楽校』の実施を通じて、持続可能な環境保全の取り組みを進めています。森林の間伐体験や果実の収穫体験などを通じて、森林を維持する重要性や自然環境を保全することによる効果などを実感できる機会を作っています。また、農山漁村と都市をつなぎ、大学生をはじめとする若者が自然に触れ、学び成長する機会を作っています。



#### 全国大学生協連関西北陸ブロック教職員委員会 鹿害学習フィールドワークin奈良

毎年京都大学の高柳敦先生のガイドで行われている「鹿害学習フィールドワーク&ジビエ料理を楽しむ会」。2018年の開催地は奈良でした。奈良の鹿は国の天然記念物に指定されている一方で、農作物を荒らされたり国の特別天然記念物となっている春日山の原始林がシカの食害によって植生が維持できなくなっているという指摘があったりと問題点もあります。

そういったことを楽しみながら学び、交流するこの会は教職員だけでなく学生にも参加が呼びかけられています。



### ●この目標に対して私たちができること

👉私たちができること／自分の大学・大学生協でできることを考えてみよう！